

6



= 3

2019 June



おひさま通信

※お詫びと訂正

4月号5月号の発行ナンバーが
vol.335,336となっていましたが、
正しくはvol.350,351となります。
お詫びと訂正を申し上げます。

vol.352



特集

Café & Gallery

温々
×

Stain Glass by KOBO-SYU

オレンヂホーム

〒 333-0831 川口市木曽呂 249-1

TEL 048-298-1796

FAX 048-294-4458

川口太陽の家

〒 333-0831 川口市木曽呂 1374

kawaguchitaiyonoie@marble.ocn.ne.jp

TEL 048-294-0955

FAX 048-294-4458

工房集

〒 333-0831 川口市木曽呂 1445

kobo-syu@marble.ocn.ne.jp

TEL 048-290-7355 FAX 048-290-7356

<http://kobo-syu.com>

Art works : 伊勢川 秀穂



特集 ■
温々作品展



令和初！ステンドグラス中心のグッズ展が
十三日間の期間、さいたま市のカフェ＆ギャラリー温々で開催されました。

今回のお話を頂いてから、あおぞら班では
まずDMのイメージを仲間みんなで話し合う
事からスタートしました。

展示の様子



そして、どの作品を展出したいかなど、展示のイメージも伝え合いながら、本番に臨みました。DMにもみんなの作品を1つずつ載せたので、今回の展示も、一人ひとりが際立つように、そして作者の姿や日常の様子が少しでも想像してもらうように、集のスタッフとも展示の話し合いを重ねました。

そんなスタッフや仲間の想いが伝わったのか、過去十二回の温々との作品展で、一番の壇上をあげることができました。そして、出した仲間全員が収益を出せたので、後日みんなで拍手喝采で喜び合いました。

上記には、今回片波見さんと一緒に、温々たさんでの開催の事で、埼玉新聞さんの取材を受けた時の感想を、倉田さんに書いてもらいました。

このような機会と成果は、仲間は勿論、職員にとっても、毎日の仕事や生活の大きな力になります。ありがとうございました。(小川)



大川祐さん送別会

十年と少し勤めた川口太陽の家を退職することになりました。この度仲間に送別会を開いて頂きました。まさか自分がこの席に座るとは思いませんでした。仲間から次々に挨拶の言葉を貰い、一人一人一言も聞き漏らすまいと耳を傾けました。会場の飾り付けや、テーブルのお花、仲間からの色紙などなど沢山のお祝いありがとうございました。

十年長いようで短いような不思議な感覚です。入職当初はめ一班に所属し、その後じゅうに班で働いて来ました。じゅうに班では表現活動を主に担当して来ました。何が出来るか分かりませんでしたが、とにかく「仲間の主体性を守る」「一人一人を大切にする」の二つを念仏のように唱えながらやって来ました。最初の頃の表現活動は仲間の才能を“引き出す”ように関って来ました。しかし徐々にそれは“仲間を理解する”方向へと変わっていきました。言いたいけど中々表現出来ない仲間の気持ちを汲み取る“言葉のようなもの”に思えてきました。

一方で仲間の作品がどんどん社会と繋がって行きました。最初みんなはキヨトンとしていましたが、展覧会に選ばれたり、作品が売れたりするとみんなの顔に自信が溢れて来ました。自分だけでなく周りの仲間の作品も気になるようになりお互いを尊敬し合うようになりました。一人一人がかけがえの無い“何か”を持って生まれていることにこの10年間仲間から教えられて来たような気がします。

今まで本当にお世話をになりました。ありがとうございました。
(大川祐)

仲間の作品に使える「太陽ギフト券」がプレゼントされ、大川さんが好きだというあおぞらの和田さんの作品を選んで使ってくれました。



はれにいったじゅうにの仲間も、送別会に参加する事が出来て、にぎやかに送ることが出来ました。



陽だまりの中より・・・

～今月の各班の想い～

じゅうに

先日、スターバックス学園の森店に行き作品が展示されている岡田さんの作品を見学に行きました。前半組、後半組に分かれての企画で今回は前半組。サービスエリアでは昼食を食べて現地についてからは飲み物、ケーキ、サンドイッチ等など皆で食べながら、作品を観ながら楽しく充実した一日になりました。次回は後半組が行きます。(沖山)



サンだいち

見沼区にある「cafe & gallery 温々」での工房集のグッズ展。今年で11回目になるとのことで、サンだいち班も行ってみよう！という事になりました。新しいメンバーになって早3か月。仲間全員で外出するのは初めての試みです。どんな事も最初はドキドキしますね。温々は初夏の緑に包まれ、とても清々しい所でした。窓からその緑と光が入り、仲間たちのグッズがとても素敵に展示されていました。店内はランチのお客様で満席、とても美味しいプレートでした。機会があれば是非食べてみたいです。これからもこうした外出を重ねて行けたらいいなと思います。(森田)



めーべ

今年も目白大学の作業療法学科での織りの講師の依頼があり、ベテランの納田さんが6月に3回、講師として頑張ってくれました。納田さん自身も、毎年学生さんたちと関われる貴重な機会なので、とても楽しみにしています。

さすが、ベテラン！学生さんたちに積極的に話しかけ、「こうやって織ると面白いよ～」「これ、いいじゃん！」と、頼もしい姿を見せてくれました。

最近お疲れ気味だった納田さんも学生さん達から若いパワーをもらえたようです！！(城田)



あおぞら

あおぞら班では、少し遅くなってしまいましたが、長年あおぞらの職員としてみんなの事を支えてくれた園部さんと、じゅうに班に異動した仲間の三羽さんを送り、新人の大里と浅子さんを迎える「あおぞらパーティ～送歓会」を開催しました。

仲間たちの贈る言葉から始まり、様々な出し物の後は、みんなでコーヒーと園部さん的大好きなあんこを使った羊羹を食べました。温かい素敵な会となりました。（大里）



きらっと

今月は café&gallery 溫々さんで開催されていた「工房集グッズ展」へ行きました。普段太陽で過ごしている仲間達の作品がとても素敵な空間に飾られていて、「すごいねー！」と自分のことのように喜び、沢山の刺激をもらいました。

また、別日にはダンスワークショップも行いました。音に乗せて思い思いに踊り、とても楽しかったです。「次も楽しみ！」といった感想を話してくれる仲間もいて有意義な活動となりました。（石渡）



青年隊

青年隊では、毎年みんなが楽しみにしている旅行の話し合いが始まりました。それぞれ、行きたいところ、食べたいものをたくさん出して楽しい話し合いになりました。（岡田）

オレンヂホーム

今年も白岡のふれあいの森まつりに行ってきました。ホームの仲間にとって、太陽の家まつり、大地まつりに並び3大祭り？の一つともいえる楽しみなイベント。数日前から「日曜は一緒に行くの？」「おまつりいくよ！」とソワソワ…

当日は好天に恵まれ仲間達も朝から元気いっぱい。到着するや五十嵐さんからは「ヤキソバ、たこ焼き、フランクフルト食べるよ！」お祭り定番フードのリクエスト。他の仲間達も早速お店に足が向かっていきました。

川口太陽の家の店番をスタッフと一緒に手伝う仲間、サイズの合う洋服を見つけてご機嫌な仲間、お腹も満足した頃には4月から「はれ」移った元ホームの仲間にも再会したり、風薫る五月の爽やかな1日になりました。（高橋）

収入

種目	金額	摘要
ウエス	¥ 11,250	
織り	¥ 400	
絵画	¥ 14,184	
詩		
古本・古着	¥ 3,400	
粘土製品		
ステンドグラス	¥ 9,500	
ダンボール作品		
和紙・木工		
牛乳パック	¥ 10,600	
その他		
給与の為、通帳から の繰入		
前月からの繰入	¥ 325,431	
合計	¥ 374,765	

支出

項目	金額	摘要
賃金	¥ 155,371	
賞与		
材料費	¥ 6,669	
経費		
その他		
通帳への繰入	¥ 212,725	
作品展準備金		
合計	¥ 374,765	

Pick UP!

今月の作品



		施設	法人・後援会			施設	法人・後援会
1	月	仲間出勤		17	水		
2	火			18	木		
3	水			19	金		
4	木		みぬま福祉講座 施設運営担当者会議	20	土	仲間休み	
5	金			21	日		
6	土	仲間休み	大地作品展	22	月		法人事務会議 集運営会議 (中津川氏 レクチャー)
7	日			23	火		
8	月	家族会役員会		24	水		集運営会議
9	火		後援会三役会	25	木	家族会	
10	水		常任理事会	26	金	業務責任者会議	みぬま新任研修
11	木			27	土	職員会議・仲間休み	みぬま新任研修
12	金	職員学習会 (白石先生講演)	初任職員交流会	28	日		
13	土	仲間休み		29	月		
14	日		みぬま連続講座	30	火		
15	月			31	水		
16	火						

施設長より

先日、大地の植村施設長から仲間たちのくらしの実態を聞く機会がありました。仲間たちの加齢、高齢にともない障害の重度化や医療面の支援が増えるなど多岐にわたる課題を聞かせてもらいました。驚くような内容でした。グループホームの課題や問題は当事者である事やきょうされんの活動を通して少しあは知っているつもりでしたが、入所施設でもホームと同じようにたくさん課題がありました。植村さんの話を聞いて感じた事は、入所施設やグループホームという枠にとらわれることなく、仲間のくらしを考えていく必要があるということでした。そのためには暮らしにかかわるすべての制度を良くしていくという視点に立つことが必要です。

暮らしを支える制度（入所、G H、居宅など）はどれも不十分です。仲間が安心して暮らしていくには制度や加算対象にはない「はざま」や「隅っこ」を支えていく必要があります。その必要性にこだわり続けていく事が職員の大変な役割です。でも、そこにこだわることができない悔しさを植村さんから感じました。今回の「はれ」開設は単に入所施設ができた、という事だけではありません。仲間たちの豊かな暮らしを築く第一歩です。この一步をもっと大きな一歩にしていくためにあらゆる分野の人達が集まり意見を出し合い「大切にしたいこと」を確認しながら実践していくこと、お互いに理解しあいながら社会に対して声を大きくしていくことが職員の役割だと思っています。

野崎 壮一

後援会からの お知らせ

発達保障連続講座 9:30~12:30

- ◆第1回 7月14日(日) 県民活動総合センター第2研修室
…テーマ「発達保障の基礎」「発達保障とは」
- ◆第2回 10月20日(日) テーマ:発達の階層①
- ◆第3回 12月8日(日) テーマ:発達の階層②
- ◆第4回 2月9日(日) テーマ:発達の階層③

SCHEDULE

今後の日程

- ・三役会 <7/9(火)10:30 川口太陽> ・役員会 <7/18(木)10:30 交流センター>
- ・広報役員会 <7/31(水) 発送作業 8/1(木)企画会議 いずれも 10:30 川口太陽>
- ・事業部 <7/2(火)10:30 事業部 @ 川口太陽>
- ・コンサート実行委員会 <7/3(水)10:30 川口太陽>
- ・学習 / 運動委員会 <7/17(水)10:30 川口太陽の家> カフェ委員 <7/(月)13:00 川口太陽>

INFORMATION



◆ワシントンD.C.日本大使館内での展示

会期: 7/15~9/30 出展: 足立直久、大倉史子、白田直紀、納田裕加、岩井美和子、栗田英二、田中悠紀
プレイベント: 《by the people 2019》ワシントンD.C.にて開催されるアートフェア
会期: 6/19~6/23 出展: 足立直久、武石トシ子

◆障害者の文化芸術国際交流事業 2019

～ジャパン×タイ「日本とタイのアール・ブリュット」～
会場: バンコク芸術文化センター 会期: 7/19(金)～11/3(日) ※月曜日休館 出展: 宮川佑理子



more info.

誰しも「好きな歌手は誰ですか?」と聞かれ頭に浮かぶ歌手(またはバンド)が一人はいると思います。私の頭に真っ先に浮かぶのは“星野源さん”です。
歌手と俳優の2足の草鞋を履き、今やお茶の間を沸かすメジャーアーティストとなりました。そんな彼の魅力をひとつ紹介したいと思います。

それはとても力強く、かつ優しい“歌詞”です。

活動初期の曲「ばらばら」では、

“世界はひとつじゃない ああそのまま 重なりあって ぼくらは ひとつになれない そのまま どこかにいこう”という一節があります。

誰かと同じでいる必要はなく、違ったまま生きていこう、「違う」ということを認めようという、「個」を尊重し、多様性を肯定するようなメッセージを感じることができます。その他の曲も、押しつけがましくない優しさでそっと背中を押してくれる歌詞が多く、幾度となく元気をもらいました。「頑張れ!!!!」とガツンと背中を叩いてくれる応援ソングも素敵ですが、心の内側からじんわりと温め、そっと火を着けてくれるような星野源さんの音楽。とても素敵な曲ばかりなので、ぜひ一度聴いてみてください! (きらっと・石渡)

念願の鎌倉観光してきました。北鎌倉駅 円覚寺⇒ランチ⇒明月院の紫陽花はお見事でした。お地蔵さんはターコイズのネックレスに紫陽花を持っていました。なんておしゃれなお地蔵さん。後庭園を彩る花菖蒲も綺麗でした。

鎌倉駅へ移動、小町通りを散策しながら鶴岡八幡宮で御朱印を頂き⇒豆柴カフェへ。
初体験、とても元気な豆柴ちゃん達に癒されながらお土産を買って帰宅しました。
天気も良く楽しい一日を過ごしました。今度は江ノ島に行きたいな。(厨房:沼)

色えんぴつ

今年度からオレンヂホームで正職として働く事になりました高橋晃一と申します。
機械屋を営む叔父の紹介で、オレンヂホームに働き始めて今年で4年目。

ここに来る前、その叔父の工場にあった何の変哲もない白い布。気になっていたもの、その当時はただのボロ切れしかありませんでした。

後日知ることになる、実は川口太陽で作られたウエスそのものだった事。ここで働くきっかけの一つが知らずに自分の所にも届いていたのかと思うと、不思議な縁があったのかなと感じます。仲間の誰かが作ったウエス1きれ。実は誰かを導くような力もあるのかもしれない。旧作業室での職員採用試験を受けている時ふつと思いました。(オレンヂホーム:高橋)